

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年4月10日

事業所名 オーパ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	88%	13%	活動場所に近隣の武道場を借りるなどし対応しています。	今年度、利用定員の解消の為新規事業所を立ち上げました。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	必要人数よりも多めに配置している。	新規事業所も含めて十分な配置ができるように努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	63%	38%	必要に応じて改修していきます。	今後ケアの必要な利用者を受け入れることができるようにしていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	朝礼や連絡ノート、定期的な会議を行い周知している。	系列事業所との連絡を密に行います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケート結果を真摯に受け止め改善します。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページに公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	顧問、行政書士による定期的な監査を行っています。	適宜運営における課題点を指摘していただき改善を行っています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用者様や保護者様へ聞き取りを行い作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	オーバグループ内で用意したアセスメントシートを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	施設管理者、常勤職員を中心にパートも交えて立案を行っています。	R5年度から運動支援についての取り組みも拡充していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節や学校行事に合わせた活動を行っています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	系列事業所とも内容に重複がないように設定しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	主として集団活動を行い、個別活動もあわせて活動しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前に打ち合わせを行い一日の流れの確認を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	支援終了後には送迎などもある為、ノートなどをもちて共有を行っている。	日報のデータ化による共有を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	88%	13%	日報を確認しながら、個別支援計画につなげられるようにしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングと面談を行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	社会経験を養うために複合的に活動しています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加しています。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	年に数回、学校と情報共有会を開いています。また、各担任とは送迎時や電話で連絡をとりあっています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	現在、該当の利用者様はおられません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%	子ども総合支援センターや児童発達支援事業所と連携を取っています。	こども園とは必要に応じて情報共有を行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	事業所の対象年齢上該当の利用者様はおられません。	系列の放デイに移行する際は密に連絡を取り合います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88%	13%	子ども総合支援センターと連携を取りながら助言等を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%	コロナ禍の為外部との交流は控えていましたが徐々に地域の活動に参加しています。	今後、拡充していく予定です。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	統括責任者を中心に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有おこなっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	38%	63%	必要に応じて情報共有しています。	保護者様のニーズに合わせて必要に合わせて行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に重要事項説明書を用いて説明を行い、また都度対応できるようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	88%	13%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	コロナ禍の為控えています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	何か不具合、不都合が生じた際には早急に対応している。また再発防止策を立て、徹底しています。	全体での会議を行い、系列事業所にも周知しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、予定表や通信簿を配布している。また連絡帳・公式LINEを用いて個別に連絡しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付きキャビネットを使い保存しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	記録として見返すことのできる媒体を使うなどしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	コロナ禍の為外部との交流は控えています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応マニュアルを作成し、契約時に説明・配布しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回の避難訓練を行っています。	お出かけに防災関係のものも年に数回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止研修への参加を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	事前に説明の上、利用者の安全確保のためや無負えない場合のみ行うと周知しています。	同意書をいただき対応しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーの確認を行ったうえで、プログラムに合わせて都度食物アレルギーのアンケートを実施しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	系列事業所全体で作成共有しています。	